

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構・外国人児童生徒教育推進ユニット 主催

2024 オンライン研修「多様性が活かせることばの教育」

研修 B 幼・小・中・高を結ぶことばの学び

第2回研修会の報告

テーマ「おしゃべりができる子どもへの学習参加支援

～みんなの考え・わたしの考え～

1 実施状況(概況)

開催日:2024年7月7日

参加者:107名

アンケート回収数:71件(66.4%)

プログラム(下線:公開可能な資料)

13:30-14:00 趣旨説明・講義

「子どもが学習参加するための力を育む日本語指導の工夫」

河野俊之(横浜国立大学)

14:00-14:50 実践事例の報告「日本語初期段階の学習支援」

報告1 地球っ子クラブ2000 代表 高柳なな枝

報告2 福生市立福生第二中学校 教諭 一瀬知未

14:50-15:55 交流「授業づくり」

15:55-16:00 閉会

研修資料について

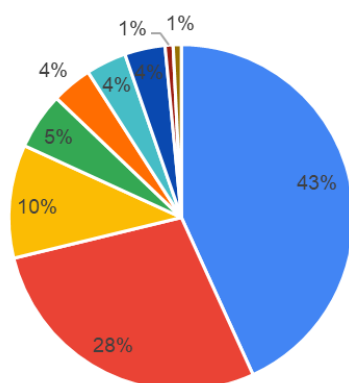
教育・研修を目的とした場で参照資料としてのご提示に留めてください。部分的な切り取りや、加工はお控えください。また、本事業資料である旨を明示してご利用ください。

2 研修ねらいと目標 ※文部科学省「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」の「豆の木モデル」(日本語教育学会2019)に基づき設定

資質・能力	具体的目標
・育む力(日本語・教科の力の育成)	コ 第二言語習得や教育方法に関する知識を踏まえ、子どもの年齢的な発達の違いを考慮した日本語や教科の指導・支援をすることができる。 セ 学校内外の生活・学習に結び付けて、日本語や教科の指導・支援、内容(教科等)と日本語を統合した指導・支援をすることができる。 ス 子どもの日本語の力を考慮して教材等を選んだり作成したりしてリソースを準備し、学習参加を促すことができる。

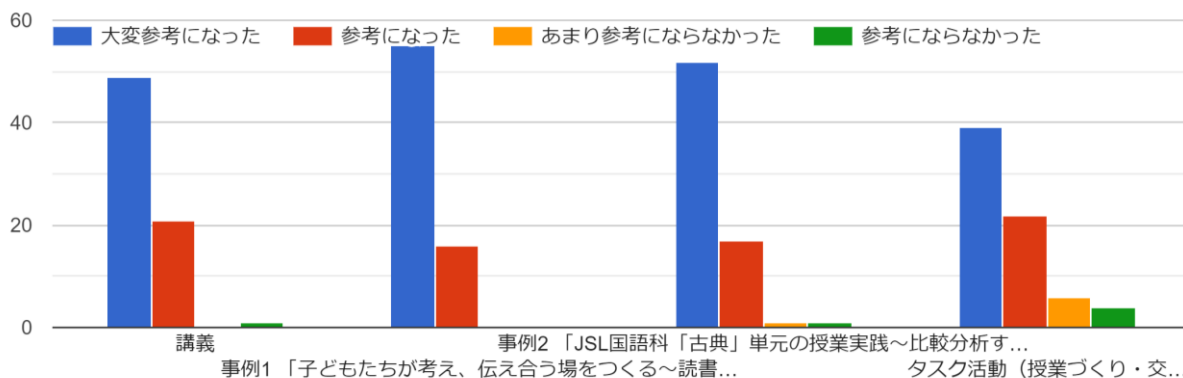
3 アンケートより

〈参加者の子どもの日本語教育への関わり〉



- 日本語指導・支援を行っている。
- 教科指導・教科学習支援を行っている
- 生活指導を行っている
- 進路指導・キャリア支援を行っている
- 学校の管理、学校教員の指導を行っている
- 直接指導はしていないが、指導・支援のコーディネートを行っている
- メンタル、生活面のカウンセリングなどを行っている
- 学校の管理、学校教員の指導を行っている
- その他

<参考になったか(満足度)>



<参加者の声>

子どもたちの学びたい、知りたい意欲をどう引き出すかが大切だと改めて思いました。後半のグループの授業案づくりの発表は、子ども主体で考えられていて、参考になりました。探究活動だけでなく、創造活動に発展させるという発想はなかったので、新鮮でした。学校だけでなく、子どもを対象にした地域の日本語・学習教室でも実践できることがありそうですが、支援者の意識改革が必要だと思います。

具体的な実践例を聞いたあと、実際に自分で考えることによって学びが深まりました



最後のグループワークは、今回受けた講義を全ての内容を網羅していたグループワークで、大変勉強になりました。

授業について共有しながら考える機会がほとんどないので、大変ありがたかったです。教科・日本語の目標について考えながら、子どもの現時点・興味関心を念頭に置き、限られた時間の支援を大切にしていきたいと思います。

4 研修企画者より

研修Bは‘はじめて’日本語(国際)教室担当になった方、指導経験が短い方を対象に、オンラインによる研修として計画しています。第2回は、日本語でおしゃべりができるけれども在籍級での学習活動に十分に参加できない子どもたちを想定した指導・支援に関する内容で構成しました。第1回と同様に、参加者には、事前に、本ユニットが令和5年度に作成した初任者向け研修動画(全6講座)を研修Bに合わせて編集したものを視聴いただきました。研修当日は、まず「講義」で、動画で視聴いただいた内容の確認と補足と、実践報告からより多くを学べるように、理論的背景についてお話ししました。特に、日本語と教科の統合として文部科学省が開発したJSLカリキュラムの紹介をしました。続く「実践報告」では、子どもの関心を引き出し、楽しく学べる日本語指導の工夫をお話いただきました。報告①の高柳先生は小学生に対する日本語指導員としての個別での取り出し指導と地域ボランティア教室でのみんなとの活動、一瀬先生には中学生に対する古典の実践を、豊富な資料でご紹介くださいました。どちらも児童生徒が生き生きとしているのが目に浮かぶようでした。また、目標が明確でそのための活動というのが意識されており、大変参考になりました。

最後に小グループで交流しながら、授業づくりのタスクに取り組みました(タスクは小5理科「雲のようすと天気の変化」について簡単な授業案を作るもの)。その後、2つのグループの授業案について紹介いただきました。日本語と教科の目標の両方を考えることや探究活動での表現とやりとりを具体的に考えていくことの重要性が感じられたと思います。非常に暑い日でしたが、充実した研修となりました。